

No.	日時	会場	質問内容	回答
1	2025.9.29	市役所本館	十年後の市役所の役割とその時の一番重要な市民サービスとは何であると考えるか。 私は高齢者支援、子育て支援、生活困窮者支援、地域活動やベンチャーなどの企業支援、市民の課題解決と一緒に考える市民サービスが最も重要になると考える。	市役所の役割は、現状と大きく変わることはないものと考えております。 また、窓口にお越しただかなくても済むような機能につきましては、引き続き検討してまいります。職員と対面でご相談されたい市民の方々は必ずいらっしゃるものと考えております。 市民課や課税課、収税部門を委託化するなどの先進事例につきましては、今後検討してまいります。現時点におきましては、10年後に無くしても良い部署が生じることはないものと考えております。 10年後の市役所に向けて、ご来庁いただくなくても手続きができる環境を整えるとともに、ご来庁された方にとっても便利で動線の良い庁舎とすることが重要と考えております。 延べ床面積につきましては、現在の職員数規模から算定すると約18,000㎡となりますが、この面積ではなく13,234㎡を目標としております。さまざまな工法を検討し、最大限のコスト削減を図ってまいります。
2	2025.9.29	市役所本館	気象状況の変化で異常気象は通年となると考えている。どうして川のそばに市役所を建てるのか分からない。市のHPで二日町付近では時間77mmの雨で内水氾濫が起きるとされている。治水の役割をしている二日町グラウンドに盛土をして市役所を建てる理由が分からない。大場川の橋が壊れたら市役所が陸の孤島となるのではないか。多額の税金を投じる市役所は川のそばで本当に良いのか。もう一度場所を検討してもらいたい。	南二日町広場のグラウンド部分の治水機能につきましては、今後の整備にて、より強化をしてまいります。内水氾濫につきましては、南二日町広場のグラウンド周辺において該当はしておりませんが、降雨時にセブンイレブン二日町店付近で水が溜まることもあり、これは桜川の影響によるものと考えております。この現象につきましては、桜川周辺の内水氾濫に関する流域調査を行っており、この結果に基づき対策を実施いたします。南二日町広場のグラウンドにおきましては、雨水を大場川以外には流さず、周辺の水の受け皿となるような治水対策を併せ持つよう進めてまいります。
3	2025.9.29	市役所本館	三島市の洪水ハザードマップでは浸水深が50cmから3mとなっている。国土地理院のハザードマップ令和7年版では5m～10mとなっている。それを1.4mというのはいい加減だ。 敷地内の排水を大場川に流すことはできるのか。飽和状態になるのではないか。	南二日町広場の想定最大規模における洪水浸水想定について、国土地理院のハザードマップにおきましては、浸水深が50cmから3mの区分となっており、静岡県統合基盤地理情報システムの地形データに基づく浸水深は、約1.4mと示されております。 静岡県統合基盤地理情報システムURL (https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?z=17&ll=35.112356%2C138.926212&t=roadmap&mp=501&op=70&vlf=000400) 南二日町広場のグラウンドにおきましては、雨水を敷地内に設ける調整池で排水量を調整し、大場川に放流する計画です。
4	2025.9.29	市役所本館	市長が6月議会の位置条例否決後の発言で「22世紀での三島市の発展のチャンスを失った」とあった。具体的にどのような計画があってどのような発展が期待できるのか教えていただきたい。広報みしまなどで全市民に周知いただきたい。	市長は、現在の庁舎よりも街中への人々の往来がより活発になるような跡地活用をしたいと考えております。事業者の皆様へサウンディング調査を実施しておりますが、跡地の活用方法が決定しておりませんと設計等に進めないため、具体的な協議には至っていない状況でございます。現在の市役所は、職員やご来庁の方々は多くいらっしゃいますが、そこから街中へ足を運ぶ方は少ないのが現状です。このため、人々が街中へ回遊するきっかけとなるような跡地利用にしたいと考えております。
5	2025.9.29	市役所本館	国が行政手続きが行える箇所としてスーパー、コンビニ、郵便局等に自治体の窓口を置くことを想定しているとのことだが、国が分散化しようとしているのに大きな箱ものを作るのは時代錯誤である。市庁舎は賃貸で良いと考える。今後全国的にそのような賃貸の庁舎が増えていくと思うので三島市がその最先端となれば話題性がある良いと考える。分散して困っているとの声を周りの人から聞いたことがない。	分散化につきましても検討いたしました。既存の公民館等を活用する場合には、改修等に多くのコストを要します。三島市は市域が62.02km ² と比較的コンパクトであるため、一か所に庁舎機能を集約する方が経済的であるとと考えております。しかしながら、庁舎を一つに集約する場合には、市民の皆様にご利用いただきやすいよう、バス路線等の公共交通を整備する必要があります。これらの点を踏まえ総合的に判断し、集約化することが望ましいものと考えております。なお、集約化に対する反対のご意見があることも、十分に承知しております。
6	2025.9.29	市役所本館	幸せとは市役所がきれいになってその中でなんでもできるようになることではない。幸せとは福祉や医療が手厚いことだと思う。実際に災害が起きた際に避難所で空調がなく寝られないようなことでは幸せではない。こういった場所に空調を設置したり、市内の道路整備に使う等の幸せになれることに対してお金を使ってほしい。市民のことを考えてほしい。	現在の本庁舎、中央町別館は建築後65年を迎えており、両建物の目標使用年数(耐用年数)60年を超えておりますため、新庁舎整備については建設コストを可能な限り抑制することにより、将来的な皆様のご負担を軽減してまいりたいと考えております。それと同時に、市民の皆様のウェルビーイングも最大限に考慮してまいります。
7	2025.9.29	市役所本館	市議会で否決されたので北田町に建てるための説明会かと思っていたが、この説明会は南二日町の理解を得るためのものと捉えて良いのか。 北田町に住んでいるので跡地が何になるのか気になる。跡地が生まれる場合も市が主導権を持って事業をすすめてほしい。第三の候補地を考えてほしい。南口の再開発の中に組み込むものかと考えていた。	この度の説明会は、市といたしまして、北田町よりも南二日町広場の方が優位性があると考え、改めて南二日町広場案につきまして皆様のご理解を賜りたく開催いたしました。 第三の候補地として東街区をご提案される方もいらっしゃいますが、事業スケジュールとの整合が難しく、週末の集客が見込めなくなるという課題がございます。 また、跡地の活用につきましては、事業者の皆様へ一方的にお任せするようなことは決してなく、市民の皆様からのご意見をお聴かせいただきながら、共に検討を進めてまいりたいと考えております。
8	2025.9.29	市役所本館	三島市の街は昔は中心市街地にいろんなものがまとまっていた。三島市が大きくなるなかで都市インフラが便利だからといって中心市街地から離れていった。最後に残った市役所までもどかすのか。静岡市には市役所や県庁、警察、病院がある。南二日町は実際は二日町ではなく街中ではない。	市民の皆様と共に街づくりを進めてまいりました結果、三島市は現在、魅力ある街になっているものと認識しております。これまでの街づくりを礎とし、この度の跡地活用につきましても、引き続き皆様と一緒に検討を進めてまいりたいと存じます。
9	2025.9.29	市役所本館	近年、線状降水帯等の大雨が多い。大雨時にどのような状況になっているのかの調査を南二日町でしているのか。 調査をしているのであれば市民に公表してほしい。 三島の街中はせまく良いところなので富士山が見えないような建物を建てないでほしい。	大場川の上流におきまして、想定最大規模である844mmの降雨により、堤防が複数箇所で決壊した場合には、約1.4mの浸水が想定されております。しかしながら、幸いなことに、現在までそのような被害は発生しておりません。大場川の治水機能が適切に維持されている限り、大規模な災害には至らないものと考えております。
10	2025.9.29	市役所本館	大事な市民説明会において、市長がいないのはなぜか。 財政に対しての不安が市民にはある。少なくとも北田町の土地を売却することはやめてもらいたい。	今回説明の核を成します基本構想は、副市長を部会長とする新庁舎整備推進特別部会において様々な検討を重ねまとめたものであり、その内容を説明する会でありますことから部会長である副市長がご質問にお答えすべきとの判断のもと、副市長を筆頭とする担当職員にて対応しているところであります。 土地の売却については、条件なしで行うことはありません。必ず適切な条件を設定した上で対応します。
11	2025.9.29	市役所本館	市は分散化の意味を間違えてとらえている。反対派が望んでいる分散化とは一つのところに行ったら市民の窓口として多くの手続きができるようにしてもらいたいというもの。北上文化プラザや中郷文化プラザは大きな建物だがあまり使われていない。お年寄りのために地域の公民館等の施設を有効活用したほうがよい。マイナンバーカードを使えばコンビニで住民票等がとれる時代である。そのような時代に大きい建物にお金をかけるのではなく、今ある建物内で多くの手続きができるようにしたほうが良い。 沼津の戸田では市民窓口事務所がある。そのような分散化を望んでいる。	現状におきましても、中郷文化プラザや北上文化プラザでは、住民票等の証明書を取得いただくことが可能でございます。三島市は比較的コンパクトな市域であり、例えば沼津市の戸田地区のように、市の中心部から大きく離れた地域はございません。 こうした状況も踏まえ、今後は各文化プラザにおきましても、対応可能な手続きの範囲を広げるなど、市民の皆様の利便性向上に努めてまいりたいと考えております。

No.	日時	会場	質問内容	回答
12	2025.9.30	中郷文化プラザ	南海トラフや相模トラフの地震に対してどうなのか懸念している。道路や大場川に架かる橋が崩れた場合に災害拠点としていかなものなのか。地震に対しての検討が薄いように感じるがいかがか。	南二日町広場は国道一号に接しており、国道一号は災害時の緊急輸送路として指定されておりますことから、災害時にも有効に活用できる路線と認識しております。国土交通省によりますと、国道一号に架かる橋梁は災害対応のための改修や点検が行われており、災害時にも機能するものと考えられます。また、南二日町広場は災害時に自衛隊の活動拠点に指定されているため、庁舎が隣接することで連携を図りやすいものと考えております。
13	2025.9.30	中郷文化プラザ	資料9ページの現在の延べ床面積15,789㎡の内訳が示されていない。この数値は社会福祉協議会の延べ床面積を含めたものとなっており、ふかした数値である。既存の市役所本館、西館、中央町別館及び大社町別館の合計延べ床面積は約10,000㎡であり新庁舎の目標延べ床面積13,234㎡と比較すると約3,000㎡増加している。虚偽のような形でだますのはなぜなのか。過去に既存に施設を利用する案があったはずだかその案が無くなっている。既存の施設や賃貸等の別の方法について検討したことはこれまでなのか。	この説明会は基本構想の内容のご説明を目的としており、資料は基本構想から抜粋しております。そのため、延べ床面積の詳細な内訳までは記載しておりません。現在の3つの庁舎と社会福祉会館、保健センター等の複合化する施設を含む総面積は15,789㎡で、新庁舎の目標延べ床面積は13,234㎡（うち庁舎部分は10,421㎡）でございます。一つの庁舎に集約することで維持管理の効率化を図り、老朽化した社会福祉会館等の施設も複合化するものになります。令和2年の市民会議では候補地、整備手法を6案検討し、その変遷を基本構想内の図で示しております。市民会議の提言書では、候補地を北田町と南二日町広場の新築に絞るべきとされております。
14	2025.9.30	中郷文化プラザ	7月時点で白紙とされていた計画をなぜ9月には再開しているのか。	6月の議会で条例案は否決されましたが、計画が白紙となったわけではございません。庁舎移転には議決が必要であり、この度の否決は私どもの力不足や説明不足が原因であったものと認識しております。市といたしましては南二日町案が最適であると考えており、今後も丁寧にご説明を続け、ご理解をいただけるよう努めてまいります。
15	2025.9.30	中郷文化プラザ	藤代町に住んでいて大きな懸念がある。二日町周辺での洪水の対策や周辺の道路整備については理解した。藤代町は周辺より非常に低い土地となっており普段から水が入り込んできている。庁舎の敷地内の水は法令により敷地内で処理することは理解しているが、庁舎周辺にできる商店や道路がアスファルト等で整備された際、それらの上下水道が御殿川に放流されることはないと言い切ることができるのか。	南二日町広場に移転する場合、調整池を十分に整備し、雨水が下田街道へ流れ込まないようにいたします。降雨が激しい際にはセブンイレブン三島二日町店付近に水が溜まる場合がございますが、その雨水を御殿川に流すことはせず、大場川に流す計画でございます。狩野川が氾濫すると大場川の流れが妨げられますが、国が計画している狩野川放水路の拡幅に対して三島市も要望を行ってまいります。また、南二日町周辺の流域調査によりますと、この地域の水は大場川と桜川に流れ、御殿川には流れていないこと、桜川と御殿川の合流地点は藤代町より下流であることから、南二日町周辺の排水が藤代町に影響を及ぼすことはございません。
16	2025.9.30	中郷文化プラザ	資料33ページの「御意見を踏まえた市の取り組み」について、これらを実施する場合に掛かる費用を踏まえて概算事業費を算出し検討するべきであり、後先が逆になっていると考えるがいかがか。	交通対策につきまして、職員調査によりますと三島二日町交差点における交通量は8時前後が最も多くなっており、これは庁舎開庁時間前のため、庁舎整備とは切り離して対応する必要があります。今後の交通アセスメント調査におきまして、開庁時間帯の交通量が8時前後を上回る場合には、庁舎整備事業に組み込み、事業費として算定いたします。今後策定する基本計画や基本設計などの各段階において費用をお示ししてまいります。
17	2025.9.30	中郷文化プラザ	福島第一原子力発電所の事故後に除染によって取り除かれた土が2045年までに福島県外で最終処分することが法律で定められた。政府は放射性物質の濃度が低い土を全国の公共工事の盛り土などで再生利用する方針だが、この土を使用する場合は事前に説明会は実施されるのか。	仮に敷地のかさ上げに使用する土に国が定める放射性物質を含む土を利用する場合につきましては、放射性物質の濃度が基準値以下であることを確認した上で使用いたします。
18	2025.9.30	中郷文化プラザ	庁舎が建つ土地が借地というのか全国的に見ても前代未聞である。資料16ページに「土地の交換を行うことで、借地料の縮減が期待できる」とあるが、交換できるような土地が市にあるのか。また、土地の所有者は交換について承諾しているのか。	庁舎建設予定地の土地は借地ではございません。ただし、南二日町広場の人工芝サッカーグラウンド西側の一部と、隣接する駐車場には借地部分がございます。市といたしましては、これらの借地部分につきましては交換ではなく、職員駐車場として使用することを所有者様へご提案してまいります。
19	2025.9.30	中郷文化プラザ	10年前から庁舎を建てる計画とのことだが基金はどの程度積み立てているのか。 6月議会での否決に当たり市議会議員が発言していた意見として、「まちなかの活性化の確証がほしい」「中心市街地の空洞化を懸念する」「市のビジョンが見えてこない」とあり、これらが市議会議員は最もネックであると考えているのではないかと考えるが、市議会議員も協力しながら考えていってほしい。	庁舎建設資金基金残高は約18.5億円でございます。位置条例の審議において市議会議員の皆様の間からは賛否両論がございましたが、市といたしましては市民の皆様へ十分にご説明を行う必要があるとの考えに基づき、今回の説明会を実施いたしました。
20	2025.9.30	中郷文化プラザ	議会で否決された理由はひとつではないはず。北か南かという問題だけではない。11月議会でもう一度諮るということは6月の時点と比較して大きく変わっていなければ可決とはならないと考えるがいかがか。 三島駅前再開発の事業費が建物の建つ前にもかかわらず増加している。そのような状況で三島市役所の移転に関してのコンサルタントが三島駅前再開発と同じコンサルタントであるのはいかなものか。	11月議会に必ず議案を提出するわけではございません。再開発に関するご心配の一つである建設事業費につきましては、新庁舎事業の場合は概算事業費に物価上昇分を含めており、その上でコスト縮減を図ってまいります。 コンサルタントへは基本構想の策定支援業務として委託しておりますが、策定業務全体を一括で委託しているわけではございません。具体的には、市で実施いたしましたワークショップの開催支援や細かなデータ収集の支援が主でございまして、コスト算定には関与しておりません。

No.	日時	会場	質問内容	回答
21	2025.10.1	錦田公民館	①市長の「三島のバラ色の未来が失われた」という発言はどのような意図か。 ②市民アンケートは、恣意的なものであった。コスト面において考慮しなければならないことが概算事業費に含まれていないのではないか。 ③市民会議の時点で事業費が80億円とする案があったはずだがその案はどうなっているのか。	① 市長は、現在の市庁舎では土日にほとんど人がいないことや、平日の昼間も職員や来庁者が車で来て車で帰るため、街中に人が出ていく状況がないと考えております。そのため、一日でも早く街中に人が出ていく環境をつくることを望んでおります。 ② 市民アンケート実施時点におきましても、新庁舎の概算事業費には、庁舎に関連する道路整備や盛土などの費用が含まれております。 ③ 生涯学習センターを利用した案の概算事業費は令和2年度時点で約82億円としておりますが、この金額には将来の建設費の変動率は考慮しておりません。一方、現在提示している南二日町広場における概算事業費は、物価上昇分（年3％）を考慮し約105.8億円としております。令和5年度時点では、物価上昇分を除いた建設費、外構費、設計業務費の合計は約80億円となっております。
22	2025.10.1	錦田公民館	市役所によく行くが駐車場が非常に狭くて苦労している。本庁舎のみで済まずに中央町別館や大社町別館に案内されると移動が大変である。 三島市の位置を定める条例とはどういうものなのか。 事業が遅れているとのことだが、目標とする市政90周年に間に合わないということはあるのか。	地方自治法では、事務所（庁舎）の位置を定める・変更する場合、出席議員の3分の2以上の同意が必要な条例の制定を求められます。三島市の庁舎はこの規定施行前から現在地にあり、条例は「地方自治法施行規程」によりあるものとみなされています。そのため、庁舎移転時には新たに条例を制定する必要があります。 なお、新庁舎の供用開始は市政90周年に必ずしも合わせなければならないものとは考えておりません。
23	2025.10.1	錦田公民館	配布された資料はHP上で公開されているのか。	今後、説明動画を作成し、配布資料とともに市のホームページ上で公開してまいります。
24	2025.10.1	錦田公民館	将来人口が65,000人程度には大きな施設は必要ない。北上文化プラザや錦田公民館等に特に市民が必要とする課の職員を配置すればよい。 現在地で建て替えを考えると、西館から分割して建てる方法もあるのではないかと。 南二日町広場には借地があるはずだが、借り続けるのか。	13,234㎡は40年後の職員数を基にした必要な延べ床面積に近く、新庁舎の使用期間は80年使用を想定しているため、庁舎としての使用年数が異なる部分（例えば80年使用部分と40年使用部分）を分けてレイアウトすることを検討しております。これにより、長期的な施設運用の柔軟性とコスト効率の向上が可能となります。 三島市はコンパクトな市域で市中心部から大きく離れた地域がないため、分庁舎化はコスト増につながります。 現在地での建て替えでは、解体と建築を段階的に行う必要があり、その過程で西館を分割して運用する段階も想定されております。 南二日町広場には借地がございますが、これは人工芝サッカーグラウンド及びその駐車場の一部であり、庁舎建設敷地には含まれておりません。サッカーグラウンドの利用者が多いため、借地は引き続き借りるか土地交換により対応する方針で、今後、所有者の方々に対し説明してまいります。
25	2025.10.1	錦田公民館	新庁舎は誰がどういう目的で行く庁舎になるのかを知りたい。コミュニティが生まれるようなスペースになることは良いと考えるが、子供連れの人や高齢者、市民、観光者がどのような目的で行く場所になるのか。これらがイメージできないと駐車場や場所の議論はできないものとする。現状に対して新庁舎ではどのようにしていくのかが見えると分かりやすいと考える。	現在の市役所には市民から受ける相談スペースがなく、窓口に面した通路が非常に狭いためプライバシーの確保が難しい状況でございます。今後DXを推進しオンライン化を進めても、直接相談を希望される市民は必ずいらっしゃるため、相談スペースの設置が必要と考えております。新庁舎は市民が利用しやすく交流できる場を目指し、コンパクトで華美にならず、コストを抑えた建設を計画しております。
26	2025.10.1	錦田公民館	新庁舎は耐用年数はどの程度か。今後庁舎に行く必要が無くなってくると考える。庁舎はコンパクトにするべきであり、コミュニティの場や人と人とのつながりを大切にすれば公民館を大切にすべき。 降雨量について、844mmの降雨では街中が水浸しとなってしまう身動きがとれなくなるものとする。これから庁舎は現状の位置が良いと考える。	新庁舎の目標使用年数(耐用年数)は80年と設定しております。 公共施設の長寿命化と財政負担の平準化・負担軽減を目標としたファシリティマネジメントでは、公民館等（中郷文化プラザ、北上文化プラザ、錦田公民館及び坂公民館）は引き続き利用する方針でございます。庁舎には将来的に余剰空間が生じる可能性があるため、その空間をコミュニティスペースなどに活用できるよう、施設に可変性を持たせる計画でございます。 降雨対策としては、最大844mmの降雨を想定し敷地をかさ上げしております。大場川は狩野川に合流しますが、狩野川放水路の拡幅計画が国により進められており、市も要望を行っております。この拡幅により洪水の危険性は減少すると見込んでおります。
27	2025.10.1	錦田公民館	社会福祉会館が複合化されるのか。 サッカーグラウンドの駐車場と新庁舎の駐車場台数（240台）はどのような関係か。サッカーグラウンドの駐車場を含めて240台なのか。サッカーグラウンドと新庁舎の駐車場は共用されるものなのか。	新庁舎には社会福祉会館を複合化いたします。 駐車場は240台分を確保しておりますが、これは庁舎用であり、サッカーグラウンドの駐車場は含まれておりません。サッカーグラウンド用と庁舎用の駐車場は別に計画されております。
28	2025.10.1	錦田公民館	二日町近辺の交通についての説明はあったが、谷田近辺については無かった。谷田近辺は交通量が現状でも多いため、庁舎ができることで交通量が増え、学校帰りの学生や高齢者の通行が多いことから車の危険性は非常に高い。子供たちの安全を守らなければならないことであることから対策の検討はいただけるのか。	今後、交通アセスメント調査を実施し、その結果を解析した上で安全対策を検討・実施いたします。これにより、庁舎が南二日町広場に移転した際に交通事故が発生しないよう努めてまいります。

No.	日時	会場	質問内容	回答
29	2025.10.3	北上文化プラザ	この説明会では南二日町広場に移転すること前提に説明していることが不満。移転することで不便となるため多くの高齢者が嫌がっている。現在地は非常に便利であることや今の市長になることで三島市は非常に良くなってきた。この移転の計画については裏で業者が動いているように感じる。市民の声なしに移転前提で資料や説明をまとめている。現在地と比較した概算事業費も大きな差ではない。これらのことについてきちんと説明するべきである。	本計画につきまして、裏で業者が動かして進めているという事実は一切ございません。職員が一つ一つ丁寧に検討を積み重ねてまいりました。洪水リスクについても、国の基準に基づき慎重に検証しております。 行政としましては、現在地と南二日町広場のどちらが良いかという判断を下さなければ、市民の皆様へのご説明ができません。そこで職員一同、様々な面から総合的に熟慮した結果、現在地（北田町）よりも南二日町広場の方が、より市民の皆様のためになるとの結論に至りました。 すべての方にご賛同いただくことは難しいと承知しておりますが、本日まで説明しました通り、多方面から検討を重ねた上での総合的な判断であることを、ご理解いただきたく存じます。
30	2025.10.3	北上文化プラザ	北田町と南二日町の概算事業費の内訳について、用地費として、北田町には4,300万円、南二日町は0円の計上となっている。南二日町広場に三島南高校が建っていた頃は2/3程度は民地であったと記憶している。現在は三島市の土地となっているのか、それとも民地が残っているのか、あるなら何㎡程度なのか、令和7年にその土地を買収するならばどの程度の金額となるのか。	まず、北田町の用地費についてですが、現在の敷地だけでは計画通りの建設が難しいため、西館北側にある一段下がった民間駐車場を買収することを前提に、庁舎の配置を計画しております。この土地につきましては、所有者様より計画に含めることへのご了承をいただいており、北田町で整備を行う場合の買収費用として用地費を計上しています。 一方、南二日町広場の場合、敷地内に人工芝グラウンドなど一部借地（約6,420㎡）がございます。しかし、こちらは三島南高校跡地の取得が進み、大半が市有地であることから、借地部分を含めずに庁舎を整備することが可能です。そのため、南二日町広場では用地費を計上しておりません。
31	2025.10.3	北上文化プラザ	南二日町広場での計画について、浸水はないと説明しているが、なぜ、市民の生命や財産を守り役所がなぜ率先して浸水地域に市役所を建てるのか。もし浸水したら職員はどのようにして庁舎に行くのか。1.4mの盛土をする、液状化はないとのことだが、東日本大震災の際に仙台等で家が傾いたのは盛土をした地域である。もう少し検討するべきだ。令和5年には市議会議員22名の内15名が北田町が良いとしていたがなぜ北田町を候補地としないのか。	当初、市議会議員の皆様のご多くは北田町での建て替えを支持されていましたが、私どもが様々な資料を基にご説明を重ねた結果、北田町よりも南二日町広場の方が望ましいとご判断くださった議員もいらっしゃいます。 特にご懸念の多い浸水リスクにつきましては、国などが示すデータを厳密に検証した結果、その心配は極めて低いものと考えております。国の想定する最大規模（千年に一度）の降雨に加え、複数箇所で堤防が決壊するという最悪の事態を仮定した場合でも、浸水深は約1.4mと想定されていますが、本計画では敷地をかさ上げすることで、このリスクに対応してまいります。もちろん、これでリスクが完全にゼロになるわけではございませんが、私ども行政の判断は、こうした国の指針や文献に基づき、慎重に行っているものです。 また、液状化のリスクに関しましては、地盤調査の結果を踏まえて丁寧に説明しております。
32	2025.10.3	北上文化プラザ	庁舎の移転について、市は当初より南二日町案に対して相当の予断を持っていたのではないかと。しかし、6月議会において、条例案が否決されたことによって躓いてしまったが、そのことについて市はどのような反省をしているのか、今後どのようにしていくのか。 どういう意図、目的で今回の市民説明会が開かれているのか分からない。6月議会で市が市民説明会を開催しなかったのはなぜかという発言があり、その答弁として、反対集会になると困るから、パブリックコメントに切り替えたとの発言があった。このことから市は初めから市民の意見を聞く姿勢がなかったのではないかと。だからここまで市民説明会がなかった。今、市民説明会を開催したということは11月議会で再上程をして、なんとしても可決に持っていきたいという意図があるのではないかと。	反対集会になるとの発言は失言であり、誠に申し訳ありませんでした。市民の皆様が分断される事態を懸念するあまり、不適切な表現となってしまいました。これまでパブリックコメントなどで多様な意見を十分に伺ってきたつもりですが、出席議員の3分の2以上の賛同が得られなかったため、市民の皆様に改めて説明し、ご理解をいただく必要があると判断いたしました。最初から南二日町広場を候補地としていたわけではなく、多くの職員が市民の意見を丁寧に伺い、慎重に検証・検討した結果の判断です。南二日町広場ありきで進めてきたことは一切ございません。
33	2025.10.3	北上文化プラザ	候補地は南二日町広場ということでこの説明会はしているのか、その他に様々な考え方があれば聞かせてくれということでの説明会をしているのか。	南二日町広場に新庁舎を建てるのが最善であると自信を持っております。より多くの市民の皆様にご理解いただくため、本説明会を開催しております。
34	2025.10.3	北上文化プラザ	市議会で否決されたのにもかかわらず、南二日町広場で良いと考える根拠を教えてください。	庁舎移転には出席議員の3分の2以上の賛同が必要です。今回の6月議会では、3分の2以上の賛同は得られませんでした。半数以上の議員から賛同を得られたため、改めて議員や市民の皆様へ、現在地より南二日町広場の優位性について説明を行っています。
35	2025.10.3	北上文化プラザ	100億以上かけてやるプロジェクトであるが、市民一人当たりいくらの負担なのか。また、これだけの事業を国道沿いで実施するのであれば、全世界や日本全国に対してに夢を持ったアピールができるような事業としてほしい。庁舎を新しくして、新時代を築こうとするのにその点のアクセントが入っていない。そういう整備をすればこの事業費は安いものとなる。国内や外国人観光客を増加させるような夢のある庁舎を作ってもらいたい。	100億円を市民10万人で割ると、一人当たり約10万円となります。ただし、これは1年あたりの負担ではなく、80年間使用する施設にかかる費用です。庁舎の機能については、場所が決定次第、基本計画や基本設計の過程で市民の皆さまのご意見を必ずお聞きします。すべてのご希望を叶えることは難しいかもしれませんが、可能な限り反映できるよう努めてまいります。
36	2025.10.3	北上文化プラザ	新庁舎事業のホームページに掲載されている内容が分かりにくい。多くのデータを収集しているが、内容をかみ砕いて忙しい人にも分かりやすい資料としてほしい。議会に出した資料をそのまま載せているだけでは市民には伝わらない。	新庁舎についての簡単な説明資料を作成します。
37	2025.10.3	北上文化プラザ	市の職員は市民の命を守るもの。今の日本の天候状況において、1か月後に大場川が氾濫する可能性だってある。予想がつかないことが起こる時代なので、少しでも危険性があるような場所に新庁舎を移転させる計画はもう一度考え直してほしい。これは隣近所に住んでいる一般の人たちの考えである。 市民の命を守るべき責任者である市長が副市長に任せただけからといって説明会に出席しないのはおかしい。本当に南二日町広場が良いのであれば市長自らが出席し説明するべきである。	市長本人は出席の意向がございましたが、本説明会の内容は鈴木副市長以下の職員が自信をもって積み上げた計画の説明です。市長にも十分説明しており、今回の説明会は鈴木副市長が責任を持って行うことを了承しています。 市民の命を守ることは市職員にとって最も重要な使命であり、今後も水害をはじめあらゆる災害から市民を守る強い思いで取り組んでいることをご理解ください。
38	2025.10.3	北上文化プラザ	庁舎整備の跡地の有効活用は要するにマンションが建つことだと市議会議員の一人に説明されている。市の考えは跡地マンションにすることで人口が増加し、商店街の活性化につながるということだと聞いている。私はマンションが建つことで商店街が良くなるとは思えない。三島市や沼津市も商店街の周辺にマンションがあるが、そのマンションのおかげで商店街をよくなったという話は聞いたことがない。むしろ商店街の横に市役所があることで商店街は良くなっていくと思う。熱海、三島、静岡を事例として、市役所が商店街の横にあることは商店街が生き延びていくことにつながると思う。それを市役所を現在地から移転することで三島の商店街は衰退すると思う。	本庁舎跡地をマンションのみとすることは絶対にありません。現在、市の職員や来庁者は車で来てそのまま帰ってしまい、商店街への利用がほとんどありません。このため、市役所の現状を維持するのではなく、より多くの人が訪れる場所に変えることが必要だと考えています。現在、土日は市役所がほぼ使われず、まるで幽霊ビルのような状態です。土日も平日も、多くの買い物客が商店街に訪れるようにしたいと考えています。
39	2025.10.3	北上文化プラザ	これだけの説明を聞くと、場所はどこであれどどんどん始めていくべき。時間が経つことでとコストがどんどん上がる。これほど微に入り細を穿つ説明をされると早速始めたほうが良いのではないかと感じる。	皆さまのご意見はそれぞれ異なりますが、反対意見も含め、本日までいただいたご意見を真摯に受け止めます。使いやすく、コストを抑え、市民の皆さまに喜んでいただける市役所を目指してまいります。